

「肺 MAC 症患者における予後予測スコアリングシステムの検討」

へのご協力をお願い

疫学研究とは、人の病気の原因や予後に影響を与える因子、病態の解明及び予防方法と治療方法の確立を目的とする研究です。当院呼吸器内科では、患者さんの診療記録から得られた情報を利用して、下記の疫学研究を行っています。この疫学研究は、北野病院の倫理委員会の承諾を得て、研究責任者のもとで行われています。既に記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たなご負担はおかけ致しません。また、収集したデータは匿名化した上で解析し、研究結果は学会や学術雑誌に発表される事がありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重され、個人情報（お名前など）が外部に公表されることはありません。

よって、この疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記ご連絡先までご連絡頂ければ、研究対象から除外させていただきます。ただし、すでに連結不可能な状況や論文化されている場合など対応が難しいこともあります。なお、同意されない場合でも、診療上不利益を被ることはありません。

近年、中高年女性を中心に肺抗酸菌症のひとつである肺非結核性抗酸菌症が増加傾向といわれており、その中で肺 *Mycobacterium avium complex* (MAC)症が 80%と多くを占めるとされています。肺 MAC 症患者の予後や経過に影響を与える因子についてはいくつかの

研究で報告されていますが、まだ分かっていないことも多く、さらなる検討が必要と考えられています。

そこで、当院では公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院と共同で肺 MAC 症と診断された患者さんを対象とし、患者さんの身長や体重などの基礎データや基礎疾患、体温、血液検査、喀痰検査、胸部 Xp や胸部 CT などの画像検査の情報を収集し、集められたデータの検討を行い、肺 MAC 症患者さんの生命予後に関わる因子を同定し、同定された因子を組合せ生命予後を予測するシステムを構築しようと考えています。このシステムが今後の肺 MAC 症診療に少しでも役立てるように臨床研究を行います。尚、研究対象となる他の方の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画に関するお問い合わせを受け付けます。ご希望される方は下記ご連絡先までご連絡ください。

<該当となる方>

2006年1月から2015年12月までに当院において肺 MAC 症と診断された方。

<登録を希望されない方>

外来担当医、もしくは以下に示す実施責任医師へご連絡下さい。

<実施責任医師>

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 呼吸器センター 呼吸器内科
丸毛 聡

〒530-8480

大阪市北区扇町 2-4-20

[Tel:06-6312-1221](tel:06-6312-1221)

Fax:06-6312-8620